

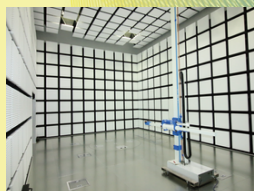
電磁ノイズ感受性の 最新規格と対策

2026年 **2月24日** **火** **13:00 - 17:00**

(受付開始 12:45~)

参加費
無料

会場：道総研 工業試験場 研修室(対面) + オンライン配信(Zoom)



AIや自動運転技術などの電子機器の高度化に伴い、IoTデバイスの重要性が増加しています。本研修では製品開発を行う上で必要となる電磁感受性（イミュニティ）試験の解説や最新規格動向、現場で役に立つ電磁ノイズ対策設計技術などテーマにしたセミナーを開催します。電磁波技術の理解を深めていただき、皆様の業務にお役立てください。

講演1 連続妨害波によるイミュニティ試験の解説

13:10-14:30

株式会社東陽テクニカ EMCマイクロウェーブ計測部 シニアエキスパート

講師 **中村 哲也** 氏

電子機器の妨害耐性を試験するイミュニティ試験の必要性、国際規格と日本規格の関連など基礎について解説します。また、イミュニティ試験の具体例として、放射妨害イミュニティ試験IEC61000-4-3、伝導イミュニティ試験についても解説します。

講演2 IEC61000-4シリーズの規格動向

14:40-15:40

イミュニティ基本規格IEC61000-4シリーズのうち、IEC61000-4-3などの連続性妨害波によるイミュニティ規格群について、最新動向をご紹介します。

講演3 EMC設計の基礎 - イミニュティ対策設計を中心として -

15:50-17:00

株式会社東陽EMCエンジニアリング ソリューション シニアエキスパート

講師 **渋谷 和也** 氏

EMC対策は、エミッションとイミュニティの両面の対策が必要です。本講演では、試験検査装置・医療機器・分析装置等の製品開発の際に非常に重要となるイミニュティ対策設計の事例をご紹介します。

裏面に続きます

電磁波応用技術セミナー

電磁ノイズ感受性の最新規格と対策

WEBからのお申し込み

下記のQRコード、または下記URLのお申し込みフォームからお申し込みください。



<https://forms.gle/vamqxvxKowQLoYDC8>

メールでのお申し込み

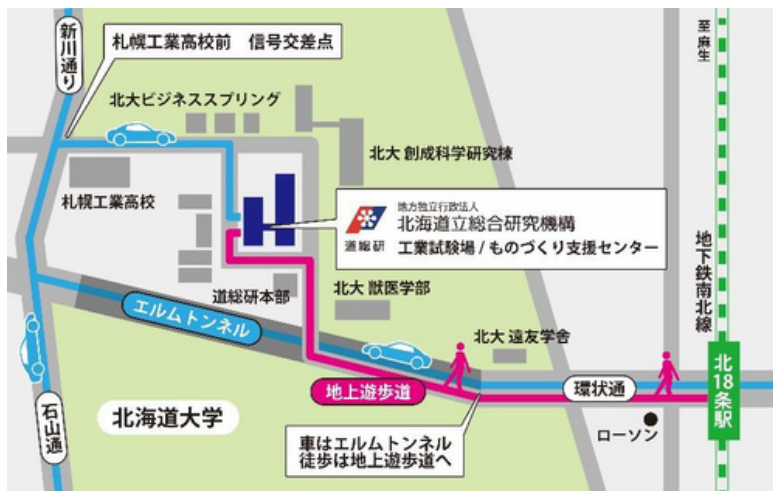
件名を「電磁波技術応用セミナー」として、メールにて下記情報を kaihatsu@hro.or.jp までお送りください。

- ・貴社名 ・所在地 ・業種
- ・参加者氏名（ふりがな付）
- ・参加者所属
- ・連絡先（メールアドレス、電話番号）
- ・参加方法（来場 or オンライン）

お申し込み締切日: 2026年2月17日(火) まで

会場アクセス

札幌市北区北19条西11丁目 道総研 工業試験場 研修室



▶ 徒歩（約1km）

市営地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩で約15分

エルムトンネルの上を通ります。
地上遊歩道をご利用ください。

▶ 車

JR「札幌駅」北口より車で約15分

新川通「札幌工業高校前信号交差点」からのみお入りいただけます。
北18条駅側から来られる場合は、エルムトンネル(地図上の青い線)をご利用ください。

お問い合わせ先

(地独)北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター（担当：都築）

〒060-0819 札幌市北区北19条西11丁目

TEL：011-747-2324（直通） / FAX：011-726-4057 / E-mail：kaihatsu@hro.or.jp

本セミナーは、「地域活性化雇用創造プロジェクト事業」の一環として北海道からの委託を受けて実施しています。ご参加いただいた企業の皆様には、セミナー参加後に雇用面での取組や、雇用実績などの調査をお願いしております。今後の取り組みの資質向上に役立てる目的ですので、ご協力をお願いします。

※ 記載していただいた個人情報は、研修・セミナー等の運営目的以外では使用いたしません。



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構